

\* バイオバンク試料調製手順 \* [ 血清 ]

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、2014/8 時点でバイオバンクが採用しているものを提示している。無菌操作ではない)

- 採血管 (ベノジェクトII 血清分離剤 + 凝固促進フィルム 6m l)
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube0.7ml #JRDS-2S)  
(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))
- 遠心機 (コクサン H-60R S/N:144045)

## 2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、4℃で 4時間程度静置。

(保存時間は個別検体情報に別途記載)

2-2. 15℃で3000 rpm、10分間遠心。

## 3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500  $\mu$ L分注。

(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))

## 4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。

\* バイオバンク試料調製手順 \* [ 血漿 ]

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している。無菌操作ではない)

- 採血管 (ベノジェクトII 抗凝固剤 EDTA-2Na 入り 7 ml )
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube0.7ml #JRDS-2S)  
(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))
- 遠心機 (コクサン H-60R S/N:144045)

## 2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、4℃で 4時間程度静置。

2-2. 15℃で3000 rpm、10分間遠心。

## 3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500 μL分注。

(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))

## 4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。

\* バイオバンク試料調製手順 \* [ DNA ] ~ Buffy Coat回収 : 未抽出

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している。無菌操作ではない)

- 採血管 (ベノジェクトII 抗凝固剤 EDTA-2Na 入り 7 ml )
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube0.7ml #JRDS-2S)  
(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))
- 遠心機 (コクサン H-60R S/N:144045)

## 2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、4℃で 4時間程度静置。

2-2. 15℃で3000 rpm、10分間遠心。

2-3. 血漿回収後、中層 (白い層) の液面につけて、マイクロピペットで1-1.5ml (血球を含む) を回収

## 3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500 μL分注。

(2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))

## 4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。

\* バイオバンク試料調製手順 \* [ DNA ] ~ 抽出

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している。無菌操作ではない)

- (2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680))

## 2. 抽出

2-1. ギャルツスタットチューブスカート2.0mLに移し替え

2-2. 抽出機 (QIAGEN QIAAsmphony SP) にセットし抽出する。

2-3. 溶出液の濃度を測定する。(TOMY tomyQ5000)

2-4. 溶出液をBBIDついたコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680) に 各 80  $\mu$ L分注。

## 3. 保存

3-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80 $^{\circ}$ C) フリーザーで保存。

\* バイオバンク試料調製手順 \* [RNA] ～ : 未抽出

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している。無菌操作ではない)

- 採血管 (QIAGEN PAXgene 762165 )

## 2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、室温で 4時間程度静置。

## 3. 保存

3-1. 採血管は貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。